



在日大韓基督教会
宣教100～110周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
(데살로니가전서 5:18)

発行所 福音新聞社 (1部100円)
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
☎03-3202-5398
発行人/金性濟・編集人/金柄鎬

e-mail: fukuinshinbun@kccj.jp

<2016年 新年メッセージ>

「世の光キリスト」

(ヨハネによる福音書8:12)

総会長 金性濟牧師(名古屋教会)



「イエスは再び言われた。『わたしは世の光である。

わたしに従う者は闇闇の中を歩かず、命の光を持つ。』」(ヨハネによる福音書8:12)

新年に、主の栄光が、昇る朝日のごとく在日大韓基督教会すべての教会・伝道所の上に祝福として輝いてくださることを心よりお祈り申し上げます。

ヨハネ福音書は「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。」という言葉から始まり、神、言、そして闇闇に輝く命の光(4,5節)へと続いていきます。この御言葉は、私たちに創世記1:1～3の天地創造の初めの言葉を想起させます。「初めに、神は天地を創造された。地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。神は言われた。『光あれ。』こうして、光があった。」

創世記とヨハネ福音書が共に冒頭に記した「初めに」とは、私たちに二つの真実を明らかにしています。まず、「初め」の前には何があったのか。それは、闇と混沌であるということ。したがって、聖書が語る「初め」の第二の真実として、「初め」とは、闇と混沌の悩みと苦しみ生きてきた私たちの人生がついに神を知り、神の愛に気づかされるようになった時であり、神の言を命の光として受け入れることができるようになった時であり、それによって自分の人生に生きる喜びと希望の光が輝き始める時を意味しているのです。

創世記1章は、4節から1日目から6日目までの天地創造が記されます。そして7日目の安息日の置かれるところが、もう一度創世記1:1～3の「光あれ」のところに立ち戻り、過ぎた日々、この世で闇と混沌に晒(さら)されてきた人はしたがって、安息日に今一度、神の前に呼び集められ、その心に「光あれ」と語りかけられるのです。今日、私たちキリスト者は、この安息日の恵みに、「主の日」にささげる礼拝においてあずかるのです。

ヨハネ福音書8:12は実は、私たちの避けることのできない厳しい現実を語っています。つまり、私たちがこの世を生きる限り、主を信じる者も信じない者も共にこの世界に起こる闇(憎悪と差別、テロ、紛争、災害など)と共に生きるほかはないということです。しかし、その現実の中で、主イエス・キリストに従う者は、この世界で同じように闇に晒されながらも、闇の中を歩まず、命の光を持って「世の光」として主に遣わされるようになるのです。

光とは、何でしょうか。反対のことを考えてみましょう。光を失い、闇の中に置かれれば、人は、①まず自分が見えなくなり、②自分が今どこにいるか分からなくなり、そして③どこに向かって進むべきか、目標も、進むべき道も見失うということです。したがって、主に従い、命の光を持つ生き方とは、神に愛された自分を発見することであり、今ここで、自分が主に何を求められているか気づけるようになることであり、そしてそのために進むべき道を見出し、目指すべき目標を望み見ることができるようになることなのです。

21世紀に入り、私たちを取りまく闇と混沌に、ヘイトスピーチやナショナリズムが数えられます。朝鮮学校に通う生徒たちばかりでなく、私たちの教会員の子どもたちも学校に通うことさえ不安を抱くこともあり、今もその闇は消え去っていません。しかし、在日大韓基督教会は、この闇と混沌の前で主に従う道として、昨年11月に第3回マイノリティ問題と宣教国際会議を東京韓国YMCAで開催いたしました。大変有意義な会議となり、貴重な成果を得ることができました。この働きは、在日大韓基督教会が闇と混沌に晒されながらも、主に命の光をともしていただき、この世界に遣わされる道であったと考えます。

(2面に続く→)

すなわち、私たちは改めて、命の光に照らされ、在日大韓基督教会が第一に、神に歴史の中でどのように愛され、用いられてきた教会であるかを、第二に在日大韓基督教会が在日外国人社会、また日本という国において、そしてさらに韓日関係においてマイノリティの人権を守る正義とナショナリズムを超える和解の宣教の使命を担う立場におかれていることを、そして第三に、これから私たちが日本と韓国、そして世界の諸教会と共にマイノリティに対する民族憎悪とナショナリズムを超えてシャローム（平和）のエキキュメンカル（超教派・世界教會的）なネットワークを構築する大きな課題を与えられていることを示されたのです。

在日大韓基督教会のそれぞれの教会が今なお困難や痛みを抱える苦しみの中にありながら、このように世界の中でいと小さき教会、在日大韓基督教会に何ができるのでしょうか。私たちは、「恐れるな。あなたは神から恵みをいただいた。」（ルカ1:30）と語りかけられ、「お言葉どおり、この身になりますように。」と応えたマリアのように、私たちが弱い時こそ恵みをもって力強く働いてくださる主にゆだねる信仰に立ち帰り、起き上がり、共に光を放ち、主に従う道を進むものとなりましょう。

<関東地方会> 泉の教会 郭恩珠牧師委任式

11月29日(主日)午後4時から、関東地方会の泉の教会(日本キリスト教会 柏木教会内)では、郭恩珠牧師委任式が行われた。

11월 29일 (주일) 오후 4시부터 관동지방회 샘물교회 (일본그리스도교회 카시와기교회 내)에서는 곽은주목사 위임식이 거행되었다.

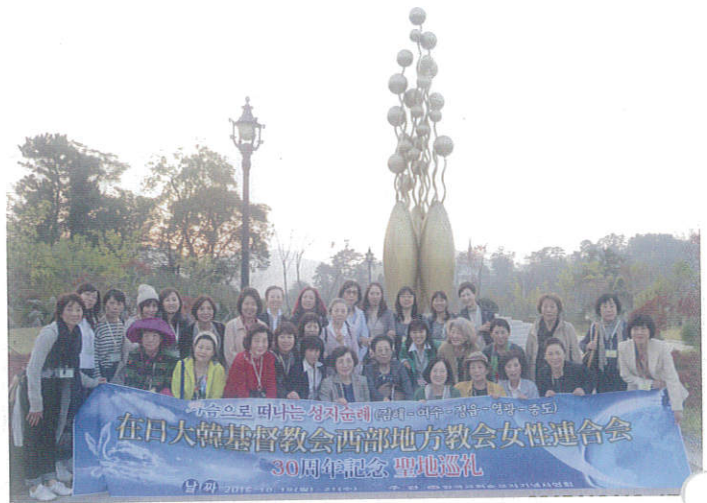
많은 축하객들은 앞으로 곽목사의 목회와 샘물교회의 성장과 발전을 위하여 격려하고 기도하면서 은혜로운 예배와 즐거운 교제를 나누었다.



(写真：牧師按手式後)

(報告：編集部)

<西部地方会> 女性連合会 第28回修養会



「30周年記念 韓国殉教宣教地巡礼」

10月19日(月)～21日(水)、韓国にて、西部地方会女性連合会「第28回修養会」が、西部地方会女性連合会30周年記念として、「韓国殉教宣教地巡礼」として行われた。

一同は、韓国釜山に集合し、麗水愛養園、孫良源牧師記念館、塩山教会、文俊卿伝道師記念館、朱基徹牧師記念館等の、殉教宣教地を巡礼した。

引率者は、韓国教会殉教者記念事業会の南光雨牧師で、南牧師のきめ細かい心使いと分かりやすい説明で、より深く巡礼地を旅することが出来た。

そして一同は、在日大韓基督教会においては、是非知るべき事であり、植民地や侵略の歴史、南北の分断という現実を抱えながら、十字架と出会い、苦難を乗り越えた殉教者たちの歴史と信仰の力を感じた。

2泊3日間の多忙な日程であったが、全プログラムは中身の濃い、充実した日程だった。そして一同は、行く所々で、韓国料理を堪能し心のこもったもてなしを受けた。

今回は、36名が参加したが、一人ひとりに役割があり、素晴らしい賜物によって巡礼の旅を終えることができたことに感謝する。さらに、信仰者としての使命を改めて考えさせられた恵み豊かな修養会であった。

(報告：兪貞恵)

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国YMCAは皆様と共に歩みます。



東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。10名様～200名様のお会議及び宿泊研修(50名)も可能。
・スペースYホール：200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。
・韓国文化教室【チャング・カヤグム・舞踊】・韓国語講座・各種子どもクラス
・YMCA東京日本語学校【3ヶ月～2年、短期研修】

関西◆にほんご教室《新規開講・募集中》韓国民俗芸術科【舞踊・チャンゴ】
在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/> *会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。
東京韓国YMCAアジア青少年センター 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5 ☎03-3233-0611
関西韓国YMCAアジア青少年センター 〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 ☎06-6981-0782

税込	平日	休・休前日
シングル	¥6,500	¥6,000
ダブル	¥10,500	¥9,700
トリプル	¥13,500	¥12,500
朝食・コーヒー¥200(宿泊者価格)		

<関西地方会> 京都教会 創立 90 周年記念行事

京都教会は、10月6日(火)に創立90周年を迎え、5つの記念事業(全体修養会、伝道集会、記念礼拝、記念バザー、記念誌発行)を計画した。

まず、全体修養会は、5月4日(祝・月)～6日(祝・水)の間、あうる京北(京都市右京区)に於いて行われた。54名の信徒が参加し、過去(歴史)・現在・未来の京都教会の姿と、今後10年の展望を語り合った。



そして伝道集会は、9月27日(主)に、女性会伝道集会と共に、90周年記念集会(講演と音楽の夕べ)として開催した。朴憲郁牧師(東京神学大教授/元京都教会講師)を講師となり、「歴史を生きる」という主題で講演した。さらに、姜隆光執事(大阪教会/日本テレマン)と春木浩子氏を招いて、ヴィオラとハープの演奏会を行った。140名が参席し、恵みの時間を過ごした。



創立90周年記念礼拝は、10月4日(主)、90年の歴史を映像と共に振り返り、礼拝時には169名が参加して、李洋子執事と兪權喜執事の名誉執事推戴式も執り行われた。午後には教会創立を感謝し、信徒の為の祝賀交流会を行った。

最後に、記念バザーは、11月3日(祝・火)に行われたが、教会内外に関わらず、多くの人々が訪れた。そして今、90周年記念誌を発行に向け、最終準備を行っている。

一つひとつが主の祝福と共に行われ、無事に終えたことを神さまに感謝する。

(報告: 京都教会)

<서부지방회> 여성연합회 제 28 회 수양회 “30 주년 기념 한국 순교 선교지 순례”



10월 19일(월)~21일(수), 한국 부산에서 서부지방회 여성연합회 제 28 회 수양회가 서부지방회 여성연합회 30 주년 기념으로 ‘한국 순교 선교지 순례’로 개최되었다.

일행은 한국 부산에 모여서 여수 애양원, 손양원목사 기념관, 염산교회, 문준경전도사 기념관, 주기철목사 기념관 등의 순교 선교지를 순례했다. 인솔자는 한국 교회 순교자 기념사업회의 남광우목사였다. 2박 3일 동안의 힘든 일정이었지만, 내용이 충실한 여정이었다. 금번에는 36 명이 참가하였는데 각자의 역할들을 훌륭한 은사를 가지고 은혜로운 순례를 마칠 수 있게 된 것에 감사하고, 그리스도인으로서의 사명을 점검하게 된 값진 수양회였다.

<일본어 관련기사: 2면> (보고: 유정혜)

「外国人住民基本法」の制定を求める第30回全国キリスト者集会

主はこう言われる。正義と恵みの業を行い、抑取されていける者を癒する者の手から救え。

寄留の外国人、孤児、寡婦を苦しめ、虐げてはならない。(エミヤ書22章3節)

記憶をつなぐ、人をつなぐ、明日をひらく

日時 2016 年 1 月 30 日(土) 午前 10 時~12 時

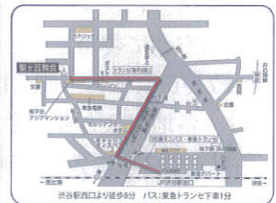
参加費 無料 *会場献金をお願いします。
*事前申込不要

会場 日本基督教団聖ヶ丘教会
150-0036 東京都渋谷区南平町9-14

<外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会(外キ協)とは?>

「外キ協」は日本に暮らす外国人の人権を守るため、指紋捺捺拒否運動をきっかけに1987年に結成されたキリスト教超教派(カトリックからプロテスタントまで)の全国協議会です。

1998年に「外国人住民基本法」(案)を作成し、その制定運動を進めてきました。神に祝福された豊かな共生社会の実現を宣教課題として、さまざまな問題に取り組みしています。



第1部 10:00より

さんび・メッセージ・いのり

メッセージ: 吉高叶さん

(日本バプテスト連盟常務理事・外キ協共同代表)

第2部 11:00より

さわともえ
沢知恵ピアノ弾き語りコンサート

シンガーソングライター・コエスタもとみ基本代表。
1971年生まれ。日本、韓国、アメリカなどで育ち、3歳からピアノを弾く。
東京音楽大学音楽科在学中に音楽アカデミー・最優秀(わかれ屋)など27種のアルバムを発表。
第40回日本レコード大賞アジア音楽賞受賞。
「日本橋をもっと美しく」という歌手と野望、圧倒的迫力の「フォー・マンズ」で、老若男女に支持されている。
東京での夢舞台公演をはじめ、ハンセン病療養所、災害被災地、少年院などでも活動。
おもちゃと音楽「おもちゃの音楽」TV「親子の部屋」顔のいい音楽家など。
日本キリスト教団岡山教会員。



主催 外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会(外キ協)

主管 外国人住民基本法の制定を求める関東キリスト教連絡協議会(関東外キ連)

■連絡先 (2016年2月まで)

101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5 在日本韓国YMCA 307号室 RAIK内 電話 (03) 5244-5734

Eメール raik@kccj.jp ホームページ http://gaikkyo.jp/

＜KCCJ 第53総会期＞

第1回 常任委員会開催



12月11日(金)、第53回定期総会後、第一回目の常任委員会が名古屋教会において開催された。名古屋教会の温かいもてなしの中で、23名の常任委員が参席した。

会議では各地方会や委員会からの報告があり、上程された議案を審議した。承認・可決された主な議案は以下の通りである。

1. 第53回定期総会の会議録を確認し、次期の定期総会に提出することにした。
2. 年金委員会の委員構成を認め、厳しい年金基金運用現状の報告を受け、その方策を機構改革委員会に委ねることにした。
3. 中部地方会からの「長野教会の宗教法人設立規則及び代表役員承認」の件を承認し、各教会における「宗教法人規則」の改正を促すことにした。
4. 任員会提案の「マイノリティー宣教センター」設立準備委員会の組織を承認した。
・委員長:金性済・委員:金健、金迅野、金秀男、金成元、佐藤信行、女性会代表
5. 中部地方会から「岡崎教会許光涉牧師の解罰と地方会との和解」に関する報告を受け、解罰後の措置などは中部地方会に委ねることにした。
6. 財政委員会から「総会財政必要最小限支出の願い」を受け、各地方会と委員会が協力することにした。
7. 「在日大韓基督教会100年史」の1,000部出版に伴い、総会に割り当てられた500部を各教会に分配、購入をお願いすることとし、1冊の価格を4,800円(教会用1部は無料)に設定し、各地方会が責任をもって代金を総会に納めることにした。
8. 2016年1月、5000部出版予定の新「韓日讃頌歌」1冊の価格を、総会内教会には2,500円、外部には3,000円に設定し、各教会に対し積極的に購入することを呼びかけることにした。
9. 次期常任委員会は、2016年4月15日(金)、10:00～18:00、大阪KCCで行うことにした。

(報告:編集部)

＜관서지방회＞ 교토교회

창립 90주년 기념행사

교토교회는 10월 6일(화) 창립 90주년을 맞이하여 다섯 가지 기념사업(전체 수양회, 전도 집회, 기념 예배, 기념 바자, 기념 잡지 발행)을 계획하고 실행하였다.

먼저 전체 수양회는 5월 4일(월)부터 6일(수)까지 '아우루京北'(京都市右京区)에서 실시되었다. 54명의 교인들이 참여하여서 과거(역사), 현재, 미래의 교토교회의 모습과 향후 10년 간의 전망을 서로 나누면서 이루어졌다.

그리고 전도집회는 9월 27일(주일)에 여성회 전도 집회와 함께 90주년 기념집회(강연과 음악의 밤)으로 개최되었다. 강사는 박한욱목사(동경신학대 교수, 전 교토교회 전도사)였는데 '역사를 산다'라는 주제로 강연했다. 또한 강릉광집사(오사카교회)와 春木浩子씨를 초청하여 비올라와 하프 연주회를 가졌는데 140여명이 참석하여 은혜로운 시간을 보냈다.



창립 90주년 기념예배는 10월 4일(주일)에 90년의 역사를 영상을 통하여 함께 나누고, 예배에는 169명이 참가하여 이양자 집사와 유근희집사의 명예집사 추대식도 거행하였다. 오후에는 교회 창립을 감사하고 신도들을 위한 축하 교류회도 가졌다.

마지막으로 기념 바자회는 11월 3일(화)에 실시되었는데 교인들 뿐만 아니라 많은 외부인들도 방문하여 함께 나누었다. 그리고 지금은 창립 90주년 기념지 발행을 위하여 막바지 준비를 해 나가고 있다.

모든 것이 주님의 은혜와 축복 속에서 진행되어 감에 하나님에게 감사한다.

＜일본어 관련기사:3면＞ (보고:교토교회)

豊かな味、豊かな心。



妻家房

SAIKABO

代表取締役 吳永錫 (東京希望キリスト教会 長老)

四谷本店:東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100